

情報公開文書

研究課題名	急性骨髄性白血病に対するベネトクラクスとアザシチジン併用療法の有効性
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>北原 茉莉</u>
研究期間	(西暦) 研究許可日 ~ 2022年12月31日
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>急性骨髄性白血病に対する基本的な治療戦略は強力な多剤併用療法です。しかし、その適応は化学療法による臓器毒性や合併症に耐えられるかを年齢、臓器機能、全身状態などによって慎重かつ厳密に判断する必要があり、高齢の患者さんや臓器障害、感染症を有する患者さんでは強力な多剤併用療法の施行が困難なことが多いです。本研究では標準的な多剤併用化学療法の実施が困難な場合において、ベネトクラクスとアザシチジン併用療法の有効性や安全性を明らかにすることを目的としています。</p> <p>(研究方法)</p> <p>電子カルテ上で、すでに診療で得られた調査項目内容を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。</p>
試料・情報	年齢、性別、病歴、治療歴、検査データ、治療後の経過といった情報を収集します。この際、氏名や生年月日、カルテ番号、住所などの個人を特定するような情報は研究に用いません。
研究対象者	<p>2021年4月～2022年2月に当院で急性骨髄性白血病に対してベネトクラクスとアザシチジン併用療法を施行した患者さん</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	<p>〒380-8582</p> <p>長野県長野市若里五丁目2番1号</p> <p>長野赤十字病院</p> <p>所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>北原 茉莉</u></p> <p>TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>